

地域で暮す、普通に暮すための提案

私は施設に入りたいのではない

施設避難者を早く地域に返したい

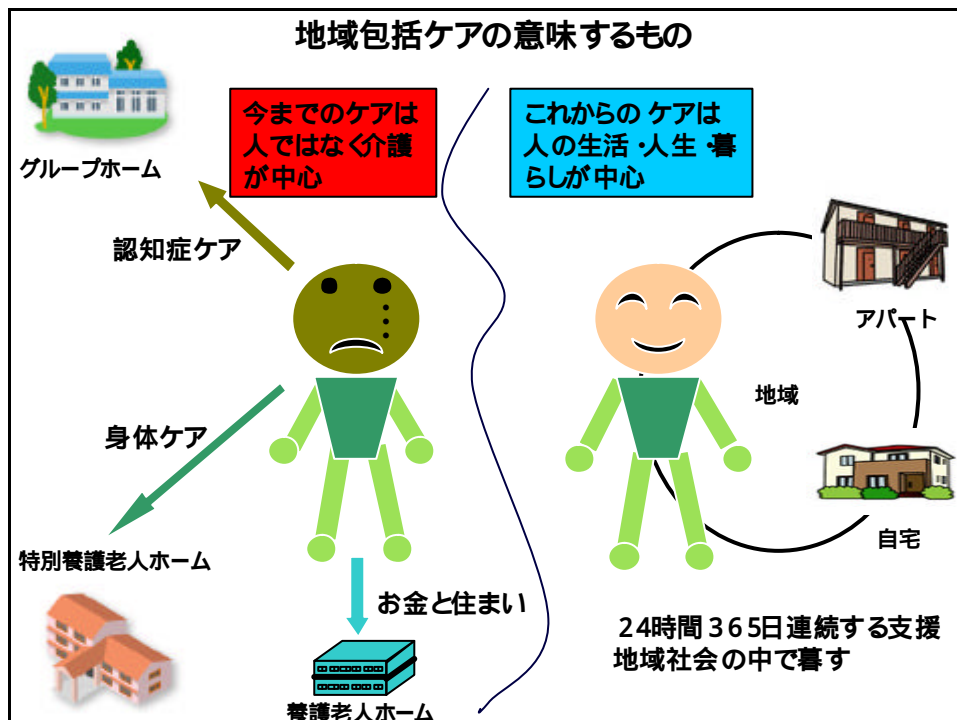
そのためには24時間365日連続する安心が欲しい

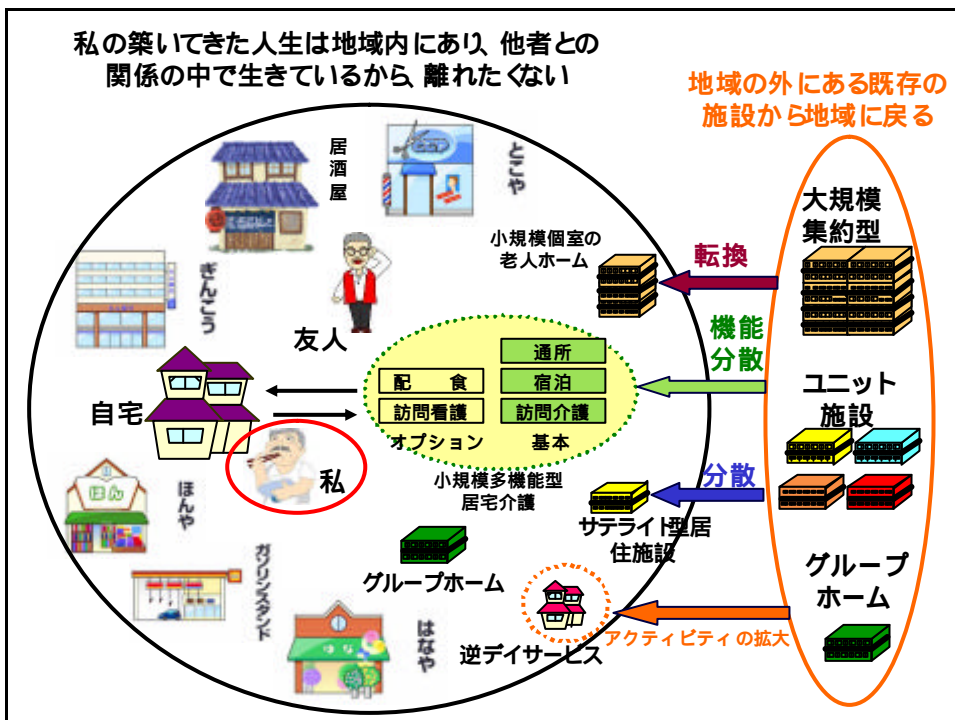
この連続するサービスは定額制が絶対条件

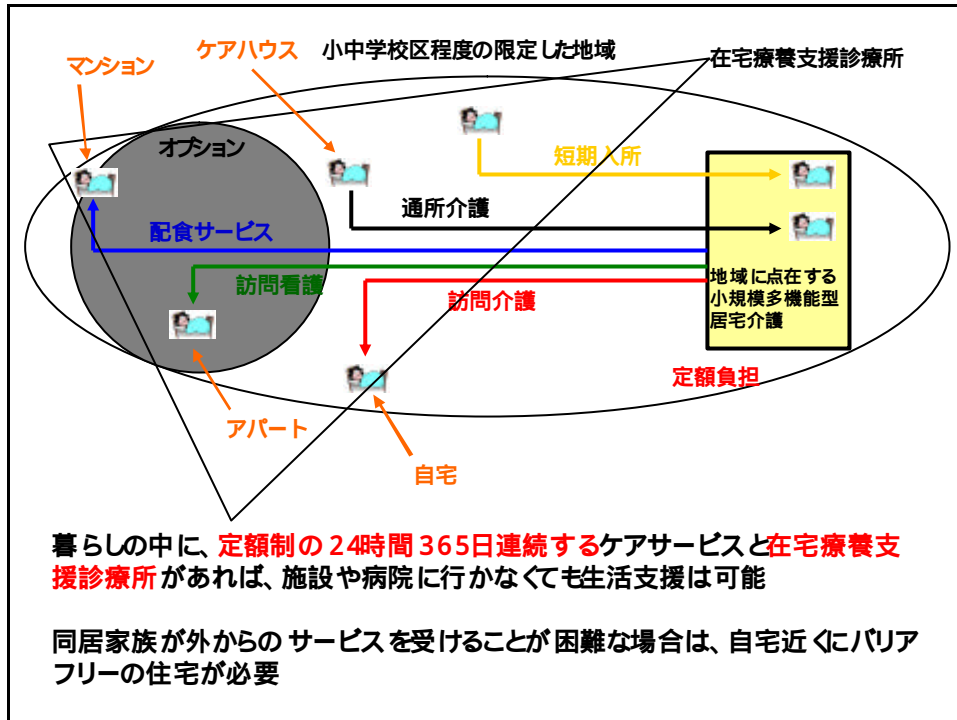
同居家族のために自分が介護を受ける住まいが必要

地域サービスは、子供・大人・高齢者みんなのもの

高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長 小山 剛









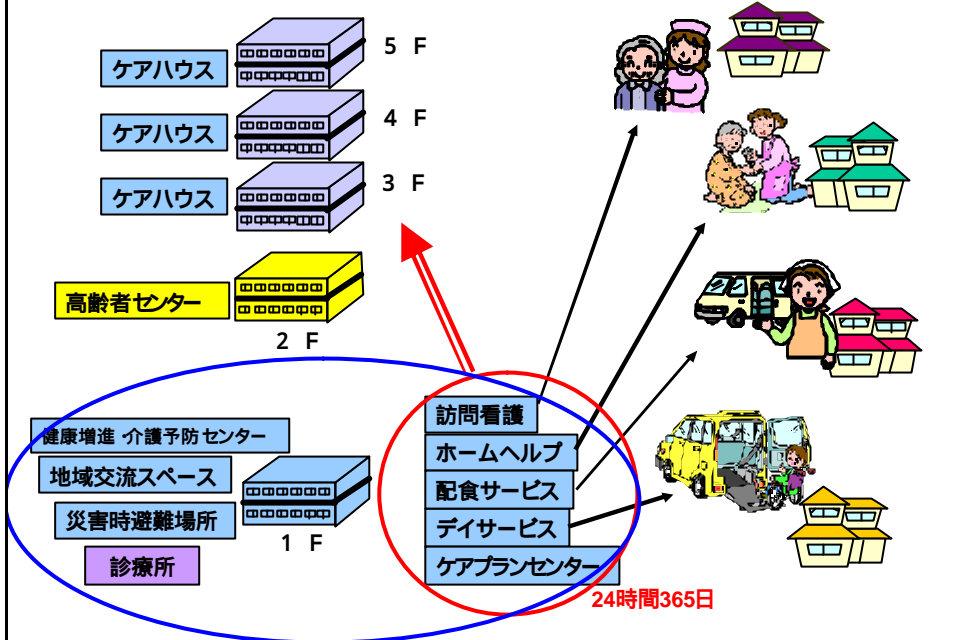
20㎡
バス・トイレ
キッチン付きの
個室

洋室
6.1帖

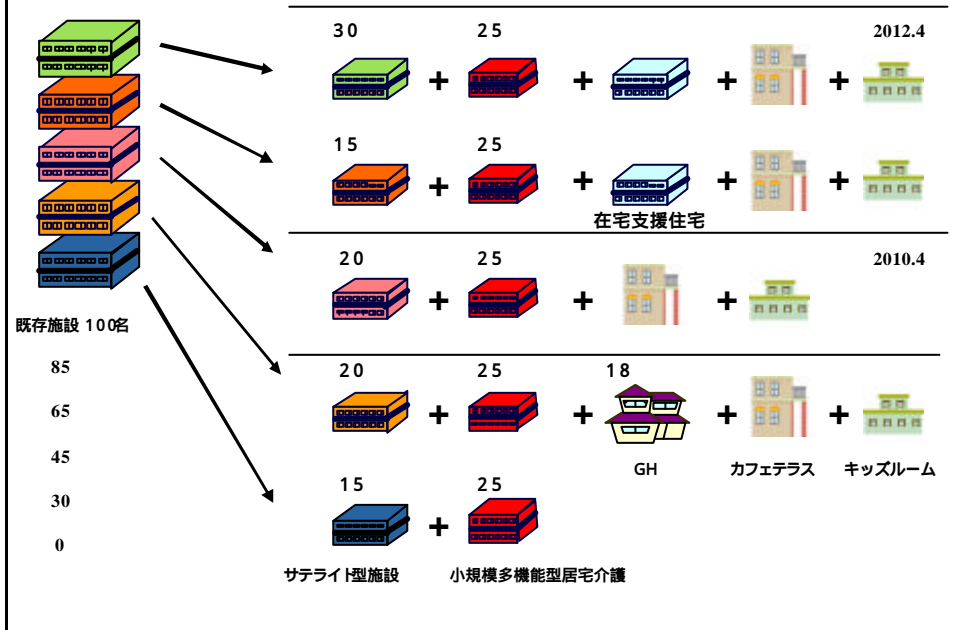
昭和52年	8.25㎡
平成7年	10.65㎡
平成15年	13.20㎡
	↓
平成22年	9.90㎡ ???

無職の学生ですら街の中でこの程度の生活をしているのが普通
 ということは
 長年にわたり社会貢献し、介護保険等の社会保障を支えてきた
 高齢者の住まいはもっと良いのが当然

サポートセンターしなのは、地域内の多様なニーズに対応するシステム



施設分散と地域支援計画 (地域全体を支えるシステム)





サポートセンター美沢

特別養護老人ホーム美沢 15名
 短期入所生活介護美沢 3名
 小規模多機能型居宅介護事業所 25名
 +
 配食サービス

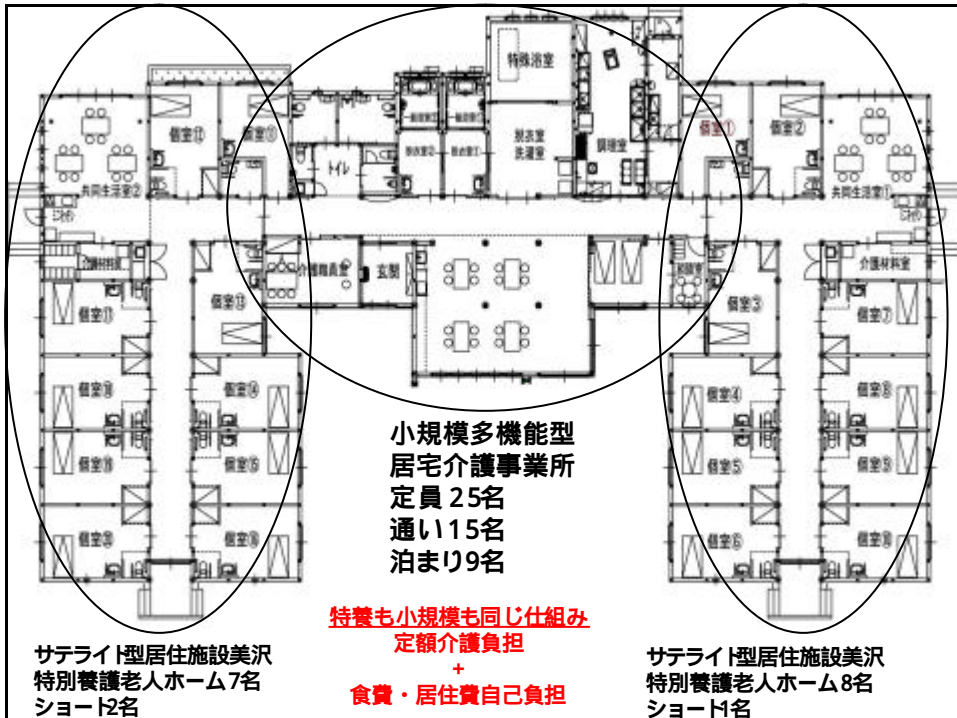


施設の中も、周辺の地域も両方ケアするシステム (Swedenと同じ)

いずれも地域社会の要介護者を支えるフルタイム・定額サービス

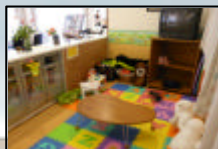
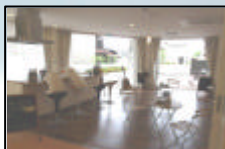
ポイント

土地・建物は全て民間所有
 利用者も事業者も賃貸で利用
 ハードに対する公的資金は0円
 但し低所得者には住宅保障が必要



サポートセンター千手

特別養護老人ホーム 20名
認知症グループホーム 18名
小規模多機能型居宅介護事業所 25名
カフェテラス・キッズルーム



ポイント
土地 建物は全て民間所有
利用者も事業者も賃貸で利用
ハードに対する公的資金は交付金
但し低所得者には住宅保障が必要
施設の中も、周辺の地域も両方ケア
するシステム (Swedenと同じ)

いずれも地域社会の要介護者を支えるフルタイム・定額サービス



サポートセンター摂田屋

特別養護老人ホーム 20名
小規模多機能型居宅介護事業
定員 25名・通い15名・泊まり6名
カフェテラス & キッズルーム

ポイント
土地 建物は全て民間所有
利用者も事業者も賃貸で利用
ハードに対する公的資金は交付金
但し低所得者には住宅保障が必要
施設の中も、周辺の地域も両方ケア
するシステム (Swedenと同じ)

いずれも地域社会の要介護者を支えるフルタイム・定額サービス



各室それぞれに玄関とベランダを設置